



2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年12月14日

上場会社名 株式会社スマレジ 上場取引所 東
 コード番号 4431 URL <https://corp.smaregi.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 山本 博士
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 副社長（氏名） 湊 隆太郎（TEL）06-7777-2405
 四半期報告書提出予定日 2022年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年4月期第2四半期の業績（2022年5月1日～2022年10月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	2,641	37.5	397	△8.0	400	△5.2	506	78.5
2022年4月期第2四半期	1,921	29.9	432	25.1	422	22.2	283	19.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年4月期第2四半期	26.33		26.23					
2022年4月期第2四半期	14.59		14.49					

（注） 当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第2四半期	5,441	4,299	79.0
2022年4月期	5,189	4,196	80.9

（参考）自己資本 2023年4月期第2四半期 4,299百万円 2022年4月期 4,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年4月期	—	0.00			
2023年4月期(予想)			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,593	34.8	651	△4.6	651	0.8	403	△9.4	20.67

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 業績予想の「1株当たり当期純利益」については、新株予約権の行使による影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年4月期2Q	19,633,000株	2022年4月期	19,633,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年4月期2Q	484,637株	2022年4月期	130,037株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年4月期2Q	19,222,791株	2022年4月期2Q	19,448,645株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年12月15日（木）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会をオンライン配信にて開催する予定です。また、決算補足説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2022年5月1日から2022年10月31日まで)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除に伴い、社会経済活動の正常化も進み、回復基調で推移しました。一方で、世界的な資源・原材料価格の高騰と物価上昇、急激な為替変動など、世界経済は先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、2022年8月にはスマレジで取引された累積取扱高が5兆円を突破いたしました。2020年末の累積取扱高3兆円達成以降、「スマレジ」の登録店舗数の伸びは成長速度を増し、約16ヶ月間でおおよそ2兆円分の取引が行われました。複数店舗を展開する中堅・大手企業の導入が、累積取扱高の伸長を牽引しております。

また、クリーニング店、洋菓子店、書店などアプリマーケット等を通じた機能拡張や外部連携による多業種・多業態の開拓にも励み、以前にも増して幅広い需要を創出していることから、前年同四半期に比べ売上高は増加いたしました。

一方、営業利益は前年同四半期に比べ減益となりました。組織力の増強に向けた積極的な採用活動に伴う人件費の増加、及び広告宣伝費等のS&M投資により販売費および一般管理費が増加したためであります。これら費用の増加に関しては、業績予想に含んでおり計画に基づいた投資であります。

なお、当社は2022年7月1日付で当社の連結子会社であった株式会社ロイヤルゲートを吸収合併しております。これに伴い、特別利益に抱合せ株式消滅差益を、法人税等に法人税等調整額(益)を計上したことにより、四半期純利益が増加しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は2,641百万円(前年同四半期比37.5%増)、営業利益は397百万円(前年同四半期比8.0%減)、経常利益は400百万円(前年同四半期比5.2%減)、四半期純利益は506百万円(前年同四半期比78.5%増)となりました。

なお、当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

販売高前年同期比

(単位：千円)

販売内訳	前第2四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	前年同期比(%)
月額利用料等	1,099,022	1,526,161	+38.9
機器販売等	821,165	1,059,704	+29.0
その他	1,079	56,049	-
合計	1,921,268	2,641,916	+37.5

(注) 販売内訳の名称を、「クラウドサービス月額利用料等」を「月額利用料等」へ、「クラウドサービス関連機器販売等」を「機器販売等」へ変更いたしました。なお、集計方法に変更はありません。

「スマレジ」の登録店舗数、アクティブ店舗数及び累積取扱高の推移は以下のとおりであります。

登録店舗数の推移

	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2022年10月
スタンダード	55,897	67,895	76,745	86,275	91,947
プレミアム	1,710	2,755	3,212	4,345	5,194
プレミアムプラス	3,077	4,976	6,425	8,196	8,387
フードビジネス	2,035	2,687	3,179	3,865	4,297
リテールビジネス	4,028	5,481	6,604	7,782	8,513
フード&リテール	74	104	148	260	293
店舗合計	66,821	83,898	96,313	110,723	118,631

※スタンダードは無料プランとなっております。それ以外は有料プランとなっております。プラン毎にサービス内容が異なります。また店舗数の定義は、有料プラン無料プランに関わらず、実際に「スマレジ」でサインアップを行い、登録された店舗数です。お客様1社が複数の店舗を保有されている場合は、その店舗数分カウントされます。

アクティブ店舗数（プラン別登録店舗数に対するアクティブ店舗数の比率(%)）の推移

	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2022年10月
スタンダード	3,681 (6.6)	4,889 (7.2)	6,012 (7.8)	6,970 (8.1)	7,739 (8.4)
プレミアム	1,598 (93.5)	2,308 (83.8)	3,029 (94.3)	4,147 (95.4)	4,947 (95.2)
プレミアムプラス	2,771 (90.1)	4,640 (93.3)	6,169 (96.0)	7,833 (95.6)	8,016 (95.6)
フードビジネス	1,931 (94.9)	2,473 (92.0)	3,022 (95.1)	3,675 (95.1)	4,081 (95.0)
リテールビジネス	3,872 (96.1)	5,210 (95.1)	6,382 (96.6)	7,475 (96.1)	8,142 (95.6)
フード&リテール	64 (86.5)	96 (92.3)	145 (98.0)	255 (98.1)	288 (98.3)
アクティブ 店舗合計	13,917 (20.8)	19,616 (23.4)	24,759 (25.7)	30,355 (27.4)	33,213 (28.0)

累積取扱高の推移

	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2022年10月
累積取扱高 (百万円)	1,769,706	2,610,754	3,468,715	4,605,960	5,344,157

※累積取扱高とは、クラウド型POSレジ「スマレジ」のサービス開始以降、ユーザーが「スマレジ」を使って販売した商品やサービスの金額の合計をいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて100百万円減少し、4,498百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が95百万円増加したものの、関係会社短期貸付金が200百万円減少したこと等によるものであります。当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べて351百万円増加し、943百万円となりました。この主な要因は、のれんが91百万円、繰延税金資産が189百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ251百万円増加し、5,441百万円となりました。

② 負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて145百万円増加し、1,054百万円となりました。この主な要因は、未払金が66百万円減少したものの、未払法人税等が64百万円、未払消費税等が54百万円、賞与引当金が69百万円増加したこと等によるものであります。当第2四半期会計期間末における固定負債は、87百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ148百万円増加し、1,141百万円となりました。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて102百万円増加し、4,299百万円となりました。これは、主に四半期純利益を506百万円計上したこと及び自己株式が397百万円増加したこと等によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ95百万円増加し、3,606百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は480百万円(前年同四半期は125百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益458百万円の計上、売上債権の減少額131百万円及び賞与引当金の増加額69百万円等の一方で、未払金の減少額106百万円及び法人税等の支払額87百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は155百万円(前年同四半期は92百万円の使用)となりました。これは主に、事業譲受による支出52百万円及び無形固定資産の取得による支出42百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は448百万円(前年同四半期は3百万円の獲得)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出448百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や感染拡大による影響が見通せない状況が続いておりますが、足元の業績は堅調に推移しており、2022年6月13日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。今後も新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,511,282	3,606,317
売掛金	351,221	316,404
商品	329,337	355,901
前払費用	87,655	122,499
関係会社短期貸付金	200,000	—
その他	119,288	97,227
貸倒引当金	△289	△300
流動資産合計	4,598,497	4,498,050
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	105,281	100,628
工具、器具及び備品（純額）	7,945	28,787
有形固定資産合計	113,226	129,416
無形固定資産		
のれん	—	91,666
商標権	939	867
ソフトウェア	148,911	150,870
ソフトウェア仮勘定	70,912	85,508
無形固定資産合計	220,763	328,912
投資その他の資産		
投資有価証券	9,990	29,870
出資金	18	18
敷金	186,406	190,067
繰延税金資産	54,865	243,900
その他	17,135	21,026
貸倒引当金	△11,146	—
投資その他の資産合計	257,268	484,882
固定資産合計	591,259	943,211
資産合計	5,189,756	5,441,261

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,197	151,870
未払金	256,396	190,030
未払費用	39,676	33,639
未払法人税等	103,030	167,655
未払消費税等	—	54,343
前受金	300,440	368,978
預り金	38,085	10,058
賞与引当金	—	69,456
その他	6,971	8,195
流動負債合計	908,798	1,054,228
固定負債		
資産除去債務	84,094	87,542
固定負債合計	84,094	87,542
負債合計	992,892	1,141,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150,354	1,150,354
資本剰余金	1,139,864	1,134,089
利益剰余金	2,184,007	2,690,221
自己株式	△277,362	△675,174
株主資本合計	4,196,863	4,299,491
純資産合計	4,196,863	4,299,491
負債純資産合計	5,189,756	5,441,261

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
売上高	1,921,268	2,641,916
売上原価	702,343	1,026,848
売上総利益	1,218,924	1,615,067
販売費及び一般管理費	786,409	1,217,189
営業利益	432,515	397,878
営業外収益		
受取利息	17	169
受取家賃	—	2,640
その他	26	64
営業外収益合計	44	2,873
営業外費用		
支払利息	9	—
投資有価証券評価損	10,073	—
その他	—	447
営業外費用合計	10,083	447
経常利益	422,475	400,304
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	58,293
特別利益合計	—	58,293
税引前四半期純利益	422,475	458,597
法人税、住民税及び事業税	159,272	141,418
法人税等調整額	△20,469	△189,034
法人税等合計	138,803	△47,616
四半期純利益	283,672	506,213

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	422,475	458,597
減価償却費	50,449	56,458
長期前払費用償却額	27	18
のれん償却額	—	8,333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	74	△11,135
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,993	69,456
受取利息及び受取配当金	△17	△169
支払利息	9	—
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△58,293
投資有価証券評価損益 (△は益)	10,073	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,729	131,046
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△53,918	7,485
仕入債務の増減額 (△は減少)	△30,612	△29,412
未払金の増減額 (△は減少)	17,099	△106,273
その他	△59,909	41,541
小計	289,015	567,652
利息及び配当金の受取額	17	169
利息の支払額	△9	—
法人税等の支払額	△163,818	△87,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,205	480,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△40,485
無形固定資産の取得による支出	△60,499	△42,734
投資有価証券の取得による支出	△20,063	△19,880
差入保証金の差入による支出	△603	△3,793
差入保証金の回収による収入	—	5,058
事業譲受による支出	—	△52,736
その他	△11,147	△1,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,313	△155,698
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	4,338	—
自己株式の取得による支出	△396	△448,175
その他	—	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,941	△448,309
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	36,833	△123,380
現金及び現金同等物の期首残高	3,611,118	3,511,282
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	218,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,647,952	3,606,317

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式390,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において、自己株式が397,812千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が675,174千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。